

令和元（二〇一九）年度日本及び東洋美術の調査研究報告（最終）

著者	中谷 伸生，日本東洋美術調査研究班，高 絵景，曹悦，田邊 咲智，？ 継萱
雑誌名	関西大学博物館紀要
巻	26
ページ	105-145
発行年	2020-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10112/00020239

令和元（二〇一九）年度

日本及び東洋美術の調査研究報告（最終）

中谷 伸 生

日本東洋美術調査研究班

日本及び東洋美術の調査研究について

日本及び東洋美術の調査研究については、これまで関西大学文学部の中谷伸生（日本近世近代美術史、東アジア芸術論、文化交渉学）を中心として進めてきた。今回の研究報告は、中谷伸生をはじめとして、関西大学大学院東アジア文化研究科の博士後期課程の大学院生、曹悦（東アジア書法史研究）、邢継萱（東アジア海洋博物館研究）、田邊咲智（日本近代絵画史研究）、菱田春草研究）、高絵景（東アジア書法史研究）ら、日本及び東洋美術の調査研究班に所属する東アジア文化研究科文化交渉学専攻の院生たちによる論文・資料紹介等の報告を行う。調査及び資料提供に際して、お世話になった皆様に深く感謝申し上げます。

〈論文〉

池大雅の初期書風について

高 絵景

〈資料紹介〉

深田直城《寒山拾得図（下絵）》及び「人物・花鳥・海魚」素描

中谷 伸生

北野恒富《夜の花》（関西大学図書館所蔵）

田邊 咲智

中国篆書書風の江戸時代日本への展開——「江戸文字」を中心に

曹 悦

廈門王爺祭りの展示について

邢 継萱